



相模ダム見学ツアー体験記

11月、初冬にしては風の冷たい朝。取水された水を県南部に供給する相模大堰。続いて、洪水のときの土砂移動を調査する為の実験「置き砂」の試験施工場所を見学。そして今日の目的である浚渫現場へ。

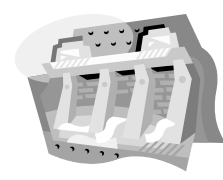
湖の中ほどに4本の柱を立てた浚渫船が、しきりに土砂を土砂船に積み上げ、陸上では10トンダンブカーがひっきりなしに土砂運び、周囲には盛り土が小山のように積み上げられていた。この場所でも水抜きした土砂を選別して、茅ヶ崎海岸の養浜に毎日10トン車30台が2往復している。

ダム建設という自然環境を変化させたことが、今大きな負債となっている。「百聞は一見にしかず」。この日は多くの県民にも知らせるべきである。

帰途、しるべ落とした夕暮れの中で、伊勢原でのみかん狩りという充実した一日であった。

くさか議員の県政に対する真摯な態度と、その行動力に感心すると共に、今後の活動に多いに期待する。また、同行したスタッフの方々のきめ細かい対応に感謝。

本村 波木井二郎



お知らせコーナー

定例議会の開催日程

2月	20日	(水)	本会議
2月	21日	(木)	本会議
2月	25日	(月)	本会議
2月	26日	(火)	本会議
2月	28日	(木)	常任委員会
2月	29日	(金)	常任委員会
3月	4日	(火)	常任委員会
3月	5日	(水)	特別委員会
3月	10日	(月)	予算委員会
3月	11日	(火)	予算委員会
3月	13日	(木)	予算委員会
3月	14日	(金)	予算委員会
3月	17日	(月)	常任委員会
3月	19日	(水)	本会議
3月	24日	(月)	本会議

是非一度、傍聴にお越しください



後援会会員募集

会員の方には、県政報告を年四回送付させていただくとともに、くさか景子が主催する各種イベントのご案内をさせていただきます。

年会費 1,000円
お近くの郵便局にて、くさか景子後援会(10220-84281491)へお振り込み願います。

くさか景子HPリニューアル

くさか景子のHPが、まもなく新しく変わります。議会報告、活動報告など、最新の情報がご覧になれます。

[http://www3.ocn.ne.jp/ children/](http://www3.ocn.ne.jp/children/)

くさか景子

茅ヶ崎中海岸の復旧状況

国道134号線沿いサイクリングロードの復旧工事が完了。工事費2,800万円をかけて、鋼矢板が深さ7m、長さ55mにわたって地中に埋設されました。



復旧工事完成後(平成19年12月25日現在) 台風9号被災直後(平成19年9月8日時点)

未来をつくる会総会 & 新春ジャズコンサート

日 時 2008年2月16日(土) 17:00 ~ 19:30
 会場 ハスキーズ・ギャラリー 茅ヶ崎市新栄町1-1 YAMAJIビル6F
 TEL 0467-88-1811
 参加費 2000円(飲食代)
 申し込み方法 FAX・e-mail・TELでお申込みください。
 TEL&FAX 0467-58-0290
 e-Mail future@grace.ocn.ne.jp



くさか景子のハチドリのひとつ

12月県議会報告(議案等一部抜粋) 台風9号被害復旧に3億8800万円

災害復旧公共事業費

昨年の台風9号による県西部の被害復旧工事

河川11箇所、砂防施設13箇所、二宮海岸、江の島湘南港の26箇所。茅ヶ崎海岸の被害復旧6031万3000円は、緊急のためすでに9月に執行しています。斐沼や柳島の海浜流出復旧、中海岸サイクリングロード修復)

神奈川県設置条例の改正

企画部の政策機能の純化及び財政部門との連携強化を図り、企画部を政策部に一元化する。地方分権の推進に寄与するとして賛成した。

出納長の給与など条例の一部改正

地方自治法の改正で、会計業務の電算化のため事務量が減少し、出納長を廃止し、会計責任者をおくことになったため出納長には職務の特殊性がなくなり一般職水準として給与減となった。知事は出納長に辞職を求めているが、任期満了まで在職を認めるとする法の附則により出納長は否定している。出納長の主張は

納得できるが、特別職の職責がなくなるとややむなく賛成した。

神奈川県商店街活性化条例

議員による条例提案で全会一致 この条例は、商店街が地域社会の発展に寄与するため、チェーン店、大型店をはじめ、すべての事業者が地域の商店街の活動に積極的に参加し、協力することで、商店街の活性化を図るために提案されて賛成したが、具体的な地域での取り組みが問題である。

12月5日に平成20年度の県施策、予算要望書を松沢知事に提出

県民の声を県政に活かすため、知事に直接要請。当日は、武田県議(左)と



知事室にて、松沢知事(中)、武田県議(左)と

社民・未来の会(左)とともに、茅ヶ崎市各種団体を含めた地域の声を要望しました。

ハチドリのひとつ 森火事に「一滴の水を運ぶハチドリに対して、森から逃げた動物たちは、そんなこと何にもない」と笑います。ハチドリは私には、私にできることをしている仔」と答えました。この行動録は私達自身に委ねられます。自分一人何かをしようも変わらないと思うのか、自分一人でも何か始めないと何も変わらないと思うのか、すいかと通います。

茅ヶ崎市「河川の築堤整備の推進、海岸の保全、新設交番の設置など」各種団体より「茅ヶ崎養護学校通学問題、発達障がいの子どものための支援、県立北陵高校校舎取り壊し、女性政策推進など

くさか景子のほつとら

話題の政務調査費は...

県議会の議会改革検討会議では、今問題になっている政務調査費(月額53万円)の領収書について、来年度より、収支報告書に領収書等証拠書類の写しを添付することになった。

しかし、額についてはまだ決定しておらず、20年2月定例会に条例として提案される。1円以上、1万円から、5万円からと、意見が分かれており、私たち社民未来の会では、1円以上すべての領収書等証拠書類を添付すべきと主張している。

さらに問題は、この検討会議は、交代会派のみで構成されており、私たち少数会派の議員には非公開で傍聴すらできず、文章で要望するしかできないという非民主的な会議であるということだ。

神奈川県議会議員 くさか景子と未来をつくる会

県政報告 Vol.4 2008年1月

発行 社民党・未来の会(県会統一会派)
発行責任者 神奈川県議会議員 くさか景子
連絡先 くさか景子事務所
〒253-0041 茅ヶ崎市茅ヶ崎2-6-30 MAXビル3-A
Tel&Fax 0467(58)0290 e-mail future@grace.ocn.ne.jp
http://www3.ocn.ne.jp/ children/



神奈川県議会は本会議と委員会(8つの常任委員会と4つの特別委員会)で構成されており、くさか景子は厚生常任委員会と青少年総合対策特別委員会に所属しています。

厚生常任委員会

県立病院分娩費値上げ

Q 県立病院は安くお産ができたが、分娩助産料1.5倍は高いのではないかと？乳房マッサージが有料になった理由は？
A 民間は今、平均43万円。それに対して、県立は15年ぶりの値上げで34万円。決して高くない。今までなかったが、マッサージ料はいただくことにした。

妊婦健診費助成

Q 健診が受けられず飛び込み出産もある中、健診助成を進め、根本的に周産期救急医療システムを充実させることが必要だが？
A 現在各市2回まで無料だが、20年までにはほぼ、5回無料化の予定だ。救急システムは紹介制度も浸透してきた。

心身障がい者扶養共済制度

Q 親なきあとの保障制度だが、掛け金の大幅値上げは加入者が入りにくいし、PR不足でますます加入者が減るのでは？東京では廃止したが、県の今後の方向性は？
A 国の一律値上げでやむをえず。今のところ必要であり、PRはしていく。

食品衛生監視指導計画

Q 食の偽装など県民の安全が脅かされているが、県での管理監視体制は？県民からの疑問や不安の窓口は？
A 監視は、保健所で行い、県保健福祉部で管理している。消費者からの質問は相談ダイヤルで対応している。

青少年総合対策特別委員会

子ども子育て支援条例

Q この条例には、子育て支援に積極的な優良企業の認証制度があるが、ワークライフバランスの観点からみれば、企業の当然の役割であるともいえる。県独自の子育て支援施策ができないか？フランスでは保育所の完全整備や働く女性の相談窓口などの充実で、出生率が2005年がピークだった。

A 認証制度が目玉であり、今は11社だが、今年度で100社が目標だ。相談窓口、ワーキングマザー応援カウンセラーの受付時間を延ばすなど充実させる。

高校生の不登校問題

Q 2年生が多く、理由も本人に関わ



視察報告

鹿児島、長崎の福祉施設を訪問

青少年総合対策特別委員会県外視察(

昨年11月、砂風呂で知られる指宿の鹿児島青少年自立センター「静活館」と、長崎大村市の情緒障害児短期治療施設「榎の森学園」を訪れた。

「静活館」人間関係に「まずいたり」コミュニケーションが苦手だったりして学校に行けず、就職もしていない若者(トト)は、全国で約64万人いるといわれ、社会問題となっている。「静活館」では、合宿で労働体験や訓練を行い、3ヶ月後に7割の人の就職を目指して、若年者の社会参加支援を行っている。

センター長の竹田さんは、「国は新たな雇用の仕組みを生み出さず、個人の力を高めて社会に適応させる施策ばかりが目立つ」と指摘する。ここでは集団生活で就職への自信をつけ、働く楽しさを知る。3ヶ月後に見違えるほど生き生きした若

者をビデオで見ると、効果絶大である。トト問題の解決には、多様な雇用の創出や教育など社会構造全体を見直す必要があるだろう。

「榎の森学園」普通級の63%の子どもたちが、自閉症などの発達障害がボーダーの可能性があるとみられ、虐待や不登校なども多い昨今。そうした子どもたちも含めて、親と一緒に住めない情緒障害児の治療を行うのが、「榎の森」だ。

隣に精神科の病院もあり、うつや気分障害、ストレス疾患など、入院患者の70%は20代から30代の女性だそう。院長先生いわく、経済的に貧しく、子育て不安や虐待が頻発。児童思春期のストレスやうつが増大。海外に比べても日本は一過性の精神疾患が多いそうだ。

今や地域で子どもを育てる力も弱くなり、「コミュニティ」の再生も必要ではないか。大変重い課題を突きつけられた思いがした。



静活館にて



長崎平和祈念像の前で



景子の神奈川行脚

- 10月
1日 市制60周年記念事業、市議との懇談
2日 児童相談所(藤沢)訪問、自立援助ホーム訪問
3日 厚生常任委員会
4日 青少年総合対策特別委員会、女性議員の会
5日 助産師さん相談、市民相談日
6日 徳洲会病院へ依頼(助産師)
7日 地区体育祭、社民党茅ヶ崎総支部大会
8日 障害者運動会
9日 厚生常任委員会
10日 茅ヶ崎駅朝立ち
11日 教育委員会教育長と懇談、議会運営委員会
12日 AED講習会
13日 本会議
14日 海岸地区市民集会
15日 茅ヶ崎駅朝立ち
16日 日韓民団懇親会
17日 発達障がい支援団体県へ要望書提出
18日 反核平和リレー応援、県福祉大会
21日 ヘッドランドレンジャー隊参加
お産カーニバル(江の島)
22日 茅ヶ崎養護学校授業参観
助産師さんと阿部知子さんの話し合い
委員会県内視察
23日 技能者表彰式
24日 港湾空港技術研究所見学(横須賀)
25日 柳島福祉まつり、民間保育大会
26日 柳島ビーチクリーン、南湖まつり
27日 ばかばか文化祭、海岸侵食シンポジウム
28日 茅ヶ崎駅朝立ち
29日 茅ヶ崎駅朝立ち
30日 こども子育て支援協議会
11月
1日 茅ヶ崎駅朝立ち、教育委員会表彰式
自治基本条例フォーラム
2日 国会傍聴ツアー
3日 日教組大会、湘南設計監理協会総会
4日 イトヨーカ堂前にて街宣・ニュース配布
5日 茅ヶ崎駅朝立ち、市民相談日
6日 決算委員会傍聴、大久保さわ子さんと懇談
7日 茅ヶ崎駅朝立ち、保健所功労者表彰式
8日 南極観測船しらせ放流委託式
14~15日 沖縄視察
16日 養護学校の保護者相談、議員研修会
17日 分権フォーラム、映画「六ヶ所村ラブソディ」
18日 ふれあいの集い、レインボーフェスティバル
19日 相模ダム見学バスツアー
20日 厚生常任委員会、連合審査会
21~22日 一年生議員研修会
23日 市福祉大会
23~24日 全国シェルターシンポジウム(千葉)
24~25日 柳島ビーチクリーン、市議会報告会
ツインシティーふぁーらむ
27~29日 青少年総合対策特別委員会視察(鹿児島、長崎)
30日 県保健衛生表彰式
12月
1日 障害者福祉大会
2日 キャンプ座間反対集会
3日 茅ヶ崎駅朝立ち、本会議
5日 県衛生研究所見学、社民党予算要望書提出
6日 茅ヶ崎駅朝立ち、本会議
7日 本会議、商工会講演会
9日 協働事業プレゼンテーション傍聴
11日 本会議
12日 金目助産院見学(二宮)
13日 厚生常任委員会
14日 厚生常任委員会、女性議員の会
17日 厚生常任委員会
18日 養護学校通学問題要望書提出
19日 議会運営委員会
20日 本会議
22日 コミュニティバス式典



早朝駅前ニュース配布



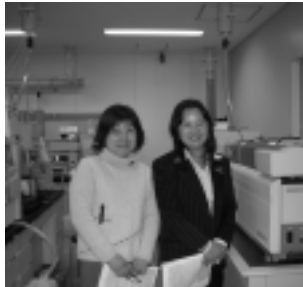
南極観測船しらせの前で



沖縄視察「辺野古の海を守れ」



キャンプ座間反対集会に参加



県衛生研究所視察



県議会控入室



提案で新しくなった地下道のミラー



国会厚生委員会傍聴



金目助産院見学

